



活動の場所 高山市久々野町（岐阜県）



活動目的

陸域生態系への影響を減少させるための対策として、外来種の侵入を防止するとともに、駆除（根絶）を行う。

活動内容

弊社受注の「小屋名第2ため池修繕工事」に伴い、池の水抜きに当たり生態系保全調査を実施した。

1. 実施日 令和5年12月19日（火）
2. 実施場所 小屋名第2ため池（高山市久々野町内）
3. 参加者 約25名
長瀬・青木特定建設工事共同企業体、飛騨農林事務所、高山市役所、地元町内会、益田川上流漁業組合
4. 作業方法 ①全ての生物を捕獲
②捕獲した生物の種類等調査（外来種・在来種判別）、数量の調査
③在来種の一時保護（近隣のため池へ移送）
④外来種の駆除 ※対象生物無し
5. 作業結果 外来種 0匹
在来種 約1,100匹（コイ、フナ、アブラハヤ、ヤゴなど）



PRしたいポイント

SDGs活動(No.11、15、17)の一環として捉えていることから関係者への協力依頼を行い実施した。

活動効果、今後の展開 等

ため池が施工されてから50年以上同様の調査はしたことがないため、外来種が生息しないことの確認、在来種の種類・数量の把握ができ有意義な活動であった。